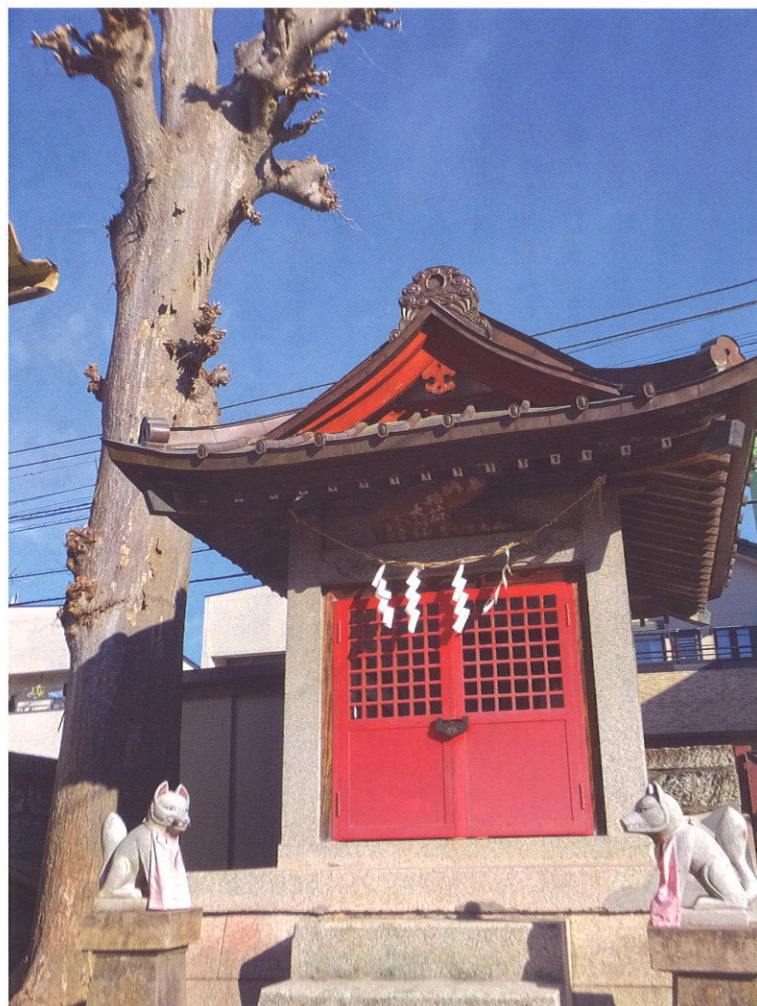


# さくら地区だより

平成29年 2月 〈No.22〉  
桜地域まちづくり協議会  
宇都宮市桜3丁目2-22  
桜地域コミュニティセンター  
Tel/Fax. 636-2007



大正時代の神社の様子



## 桜百景

## 西宮稲荷神社

自治会では7月と12月に清掃を行い、境内にある大人一人では抱えられないほどのケヤキの木も剪定しています。3月の初午祭には、宮司に町内の一年間の安全と子育て、火伏せの祈禱をしていただいています。また、奉納子ども相撲大会も参加する子どもが少なくはなっています。大事な伝統行事として行っています。

西大寛本町自治会内の桜1丁目にあります。稲倉魂命(うかのみたまのみこと)をおまつりしているお稲荷様です。五穀豊穡、商売繁盛、子育て、火伏稲荷として地域の人々は大切にしています。西大寛本町では、明治以前からはや程度が一、二回あっただけで火災は起っていないそうです。神社の由来は、旧藩主戸田家が、島原から宇都宮に国替になった時、藩士をいくつかの組に分けて住ませ、各組に稲荷神社を建立し御組稲荷と称したそうです。その中の二つの稲荷神社を合祀したのが、西宮稲荷神社です。

# さくら うつのみや 歴史散歩 大貫裕

桜地区を地図や歴史を散策するように見て行きましょう。約400年前、本多正純公が都市計画をして今の宇都宮に整備されました。

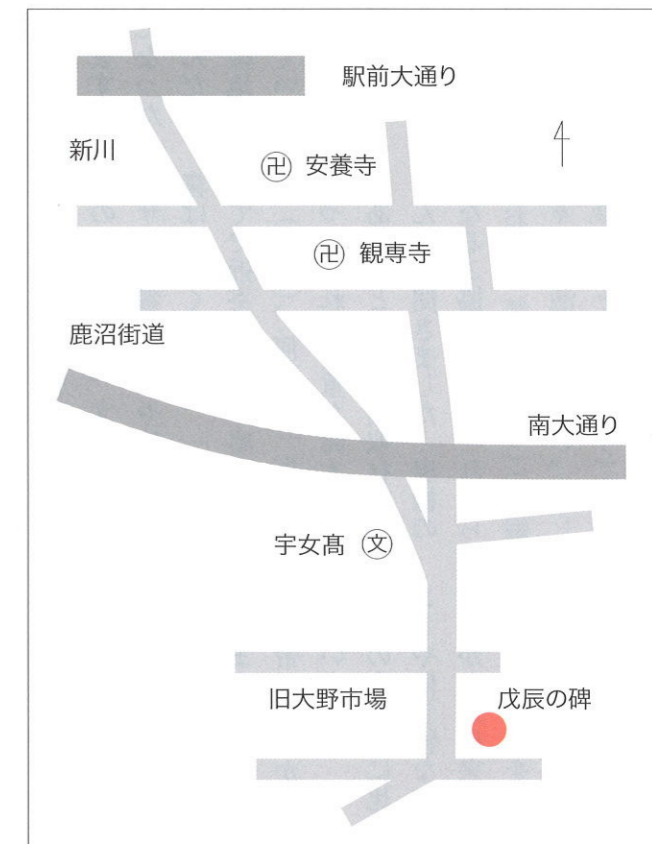
町の出入り口に寺が置かれ、日光街道筋を町家が戦闘用の防御壁よろしく隙間なく軒を連ね、その背後に武家屋敷が配置された城下町。

六道の辻に戌辰の墓があります。明治新政府が、幕府軍は賊として遺体は捨て置けと命じましたが、近隣の人達は手厚くほうむり碑を建てます。まわりの寺にも官軍の墓があります。

明治維新前後から国家のため殉死した人の霊を祀ったのが護国神社です。

軍隊が来て両者の門前町、軍隊払い下げ後は学校町、身近に大きな緑地がある公園緑地町、近郊農家が市場に持って来る市場町、牛や馬が通り蹄鉄、金具、肥料屋、江戸時代日光街道には市が立ちました。商業町、宿場

町、町の成立条件なんでもござれ。この桜地区は、重要なパワースポットなのです。



## 伝言板

### ●桜地域コミュニティセンターからのお知らせ

桜地域コミュニティセンターを利用するための、平成29年度の団体登録をお願いします(団体登録は、毎年度していただきます)。その際、地域団体は規約(会則)、サークル団体は、会員名簿、利用団体登録票の提出をお願いします。



### ●資源物の回収について

毎月第1、第3日曜日は地域の資源物の回収日です。収益金は、それぞれの自治会活動に有効利用されますので、ご協力をお願いします。



### ●鶴田川をきれいにする会からのお知らせ

鶴田川をきれいにする会では、会員を募集しています。時代を支えてきた鶴田川を大切に、環境を保全し、後世に伝えるためには、共感くださる方の協力なくては役割は果たせません。ぜひ、お力をお貸しください。入会をお待ちしています。女性の方も大歓迎です。

入会の申し込みは、鈴木(☎648-4558)まで。



### ●募集します

・桜百景の写真・俳句や短歌などの文芸作品・我が家の自慢料理・桜地区の素敵なお店・地域で活動されている方の紹介など「さくら地区だより」に記事をお寄せください。





# 桜地域文化祭を 開催しました。

桜地域文化祭は、平成28年11月5日に開催し、大勢の方々に来場していただきました。三年前大好評の落語を再企画。のん気亭喜楽師匠に依頼しました。師匠は自連役員のお一人と同級生ということで快諾くださり、三年前同様会場は、笑いの渦に巻き込まれ大いに盛り上がりしました。交通安全教室は、地域内の方の愛車に前もって取り付けたドライブレコーダーの映像を利用し、身近に感じられる教室となりました。

初参加のビッグツリスポーツクラブには、体成分測定を行っていただきました。地域包括支援センターさくら西の骨密度測定や聞こえの相談、健康づくり推進員の野菜摂取量クイズなど身体にいいことコーナーも好評でした。作品展示は会場の都合で今回は狭くなりましたが、コミ

セン主催講座の作品やさくら女性の会の手芸教室作品、そして地域の皆さまの力作を展示しました。作品展示は、一年間の自己研鑽の発表の場としてひろく活用していただければ、と思います。

模擬店は「楽しい店」と「おいしい店」を考えました。「楽しい店」では、ザリガニ釣り、的当て、ヨーヨー釣り、くじ引きなど子ども達に人気の店が並び、「おいしい店」では、綿あめ、かき氷、窯焼きピザ、焼き芋、赤飯、けんちん汁、コーヒー、紅茶などいろいろ取り揃えて販売しました。晴天に恵まれ、かき氷には行列が途切れませんでした。

校庭で、桜地域に関するウルトラ○×クイズも行いました。桜小児童も多数参加し、出題に挑戦しながら校庭に書かれた○と×を移動し大人も子どもも楽しみました。



のん気亭さんの落語



子ども達に人気の的当て



自転車をきちんと乗るのは難しい



力作ぞろいの作品展示



たくさん参加してくれた○×クイズ



黒猫も来てくれました



←第5・6回  
かわいい巾着かごを作ろう



←第4回  
中国茶の飲み比べ

- ★わくわく桜
- 一般成人対象
- 参加者30名
- 月1回、水曜日開催

平成28年度  
まちづくり協議会  
主催講座の報告

# 桜地区防災訓練を おこないました。

防災訓練は、平成28年10月2日に実施されました。宇都宮西消防署や消防団第一分団、第二分団など外部の人々との協力を要する大規模な訓練となりました。

消防署への通報、はしご車による救出、救助応急手当、炊き出し訓練などを見学し、参加者による体験訓練として初期消火（消火器による放水体験）、応急手当や資機材取扱い、はしご車搭乗、煙道体験、バケツリレー訓練、起震車による地震体験などを実施しました。

例年とほぼ同内容の活動です。ので、混乱もなく終了することが出来たと思います。その点ではたいへん満足のいく結果だと思いました。ただ、他地区の方々の意見を聞いて考えたことがありません。それは、報告の練習です。災害発生時のテレビなどを

見ると、ケガ人や負傷者の数が増えることが予想されます。被害の状況はほとんど変化していきません。その変化に注目を注いでいかなくてはなりません。

救助物資も同じです。最初に届いた物で充分なのかどうか、次々に届く物資をどのように全員に知らせ、分配するのか、何度でも新情報を全員に知らせるシステム、それを徹底する訓練を実施できないものかと考えています。

桜地区防災訓練は、自治会連合会を始めとして各団体の構成員の協力で見事に実施できていますが、そのような献身的な協力に因應するためにも実際に適応できる訓練を追求していきたいと思います。皆さま方のご協力に、深く感謝いたします。



高所救出訓練



放水訓練



AED取扱い訓練



煙道訓練



資機材取扱い訓練



放水訓練（遠いところへの）